

2016 年 7 月 29 日

日本のまんなか意識調査 『がん検診に関する意識調査』 受診しないのは面倒だから！？

地域差

健康

お金

日本人の死亡原因上位に入ると言われている「がん」。

CM や雑誌でも早期発見を促されている、誰も一度は耳にしたことがある病です。

その、ほぼ誰もが知っているであろう「がん」を対象とした検診についての意識調査を
モバイルサイトフリモ®の会員に向け 2016 年 6 月 3 日～12 日で実施致しました。

調査結果ハイライト

- がん検診認知度は 20 代で 41.6%、年代が上がるにつれ上昇し平均 59.9%
- がん検診受診率は男性より女性のほうが高く、愛知県女性は受診経験がある比率が 81.7%。
岐阜県女性は受診経験がある人は相対的に少ないが、1 年以内の受診率が 46.8%と高い。
- 受診経験のある人は、受診のきっかけについて
男性性は「職場で義務化されていたから」、女性は「市町村の助成があったから」が多い結果となっており、「職場での義務化」と「市町村の助成」が効果的であることが明らかに。
岐阜県の女性は愛知県の女性に比べ就業率が高いことの影響か「職場での義務化」の回答比率が高い結果となった。
- 受診しない理由は「面倒だから」(28.3%) 検診料金が「高い」(25.8%) が大きなネックとなっている。
- 今後受診するきっかけとして、
愛知県女性は「検診クーポンが贈られたら」と回答する比率が高く (27.8%)、検診クーポンが浸透している様子が垣間見えた。
愛知県の男性は「定期的に検診に行く検診先があれば」が一番多く 22.7%で、職場での義務付け強化が受診率向上の糸口になりそうである。
一方で、岐阜県の女性は「検診クーポン」というものを認知しておらず「割引」という概念で捉えているようで、「検診料金の割引があったら」が 22.8%と一番多い結果に。
岐阜県の男性は「身近な人ががんになったら」が一番多い結果となっており (20.9%)、岐阜県でのますますの啓発活動の必要性を感じる結果。

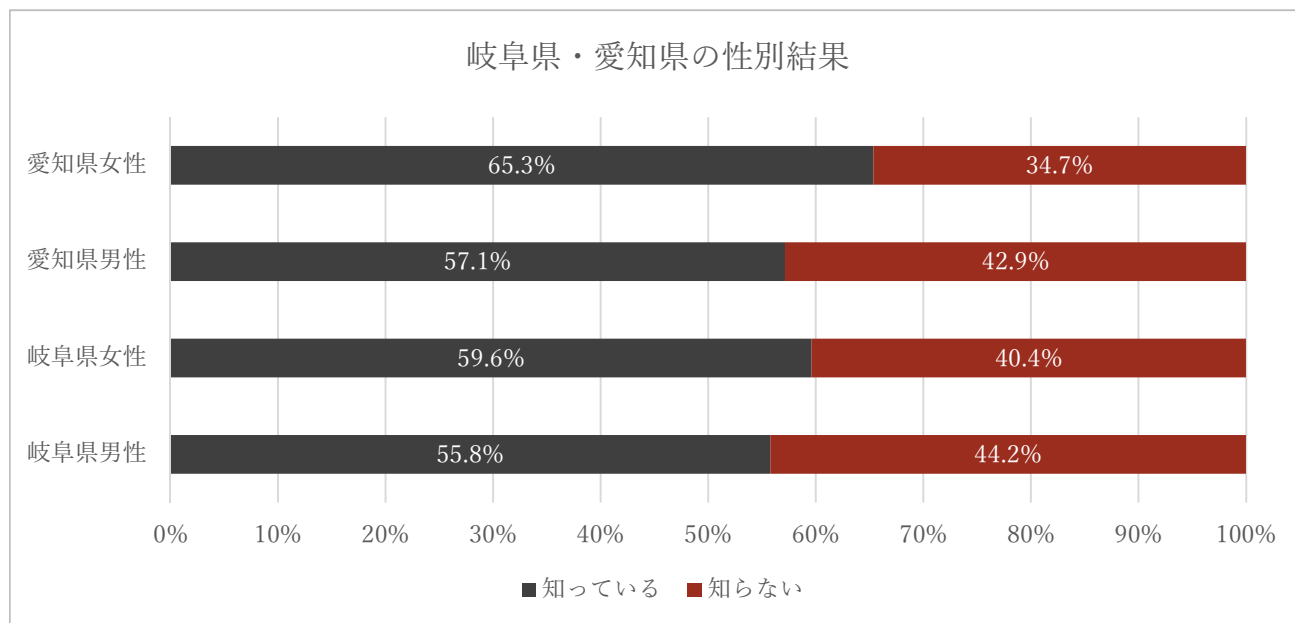
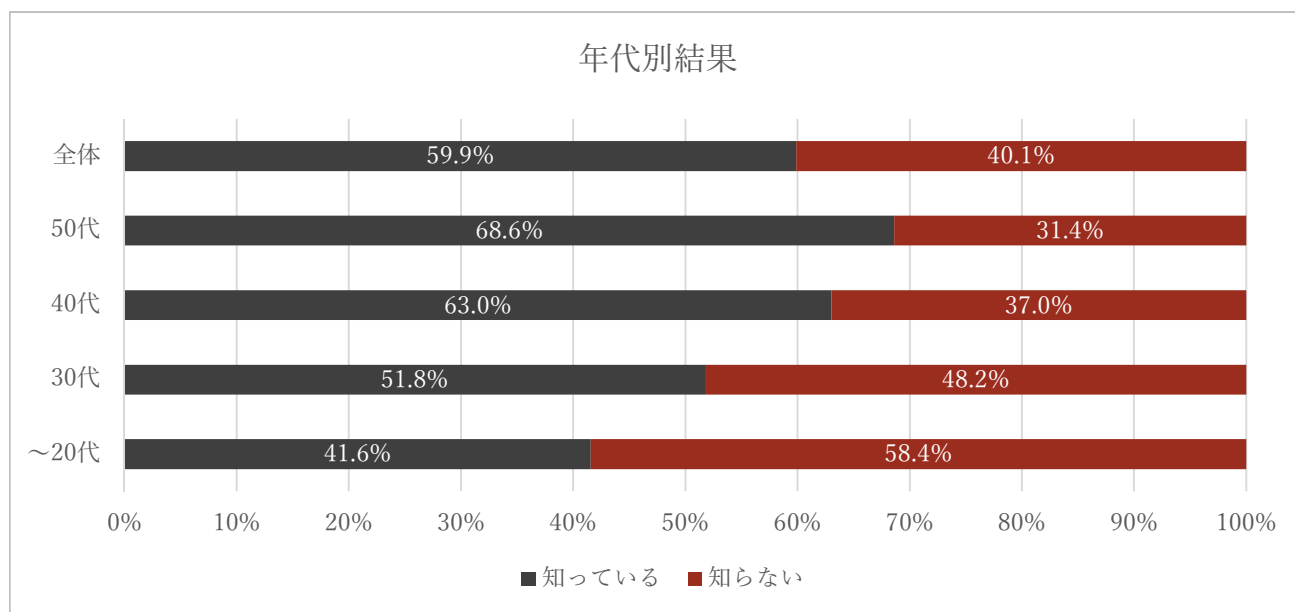
次頁より詳細とグラフをまとめておりますので、参照ください。

【本件に関するお問い合わせ】

株式会社 中広 メディア戦略室 広報課(岡本)
TEL.080-6978-2574 Mail : koho@chuco.co.jp

1. がん検診とは、胃がん、大腸がん、肺がん、乳がん、子宮がんの 5 つの異常を調べる検診という事をご存知でしたか？

**がん検診の認知度は 59.9%。
年代が上がるにつれ認知度は高くなるが、20 代においては 41.6%。**



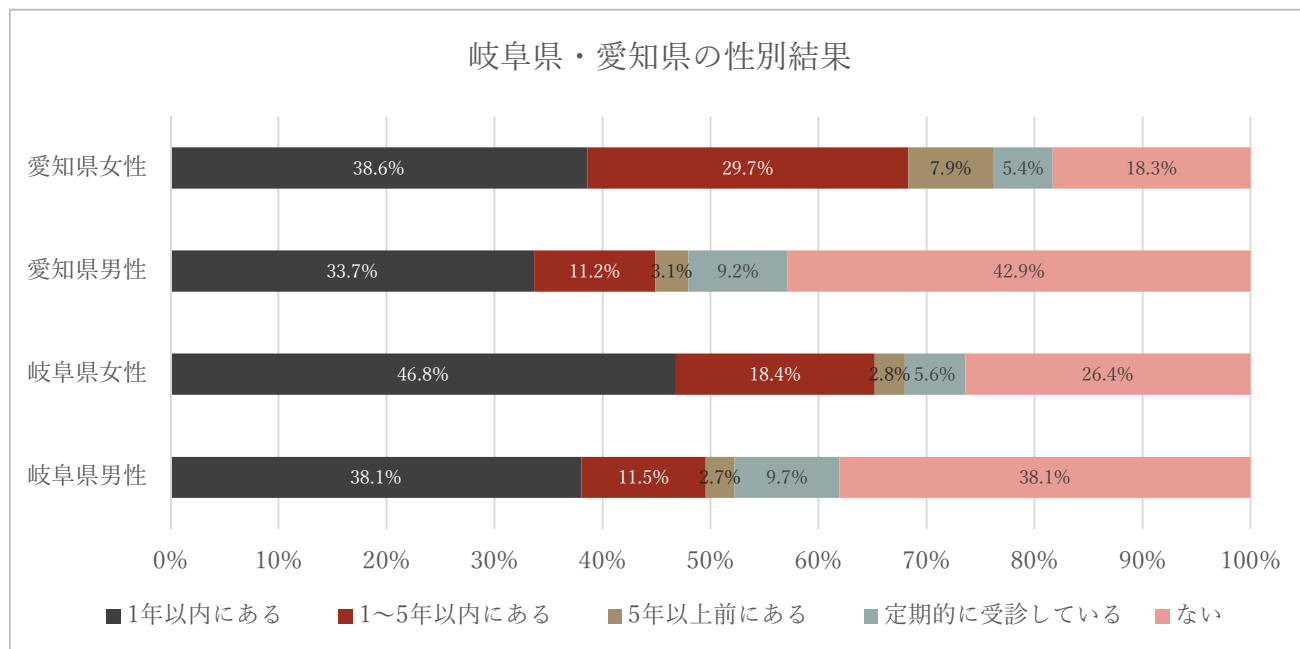
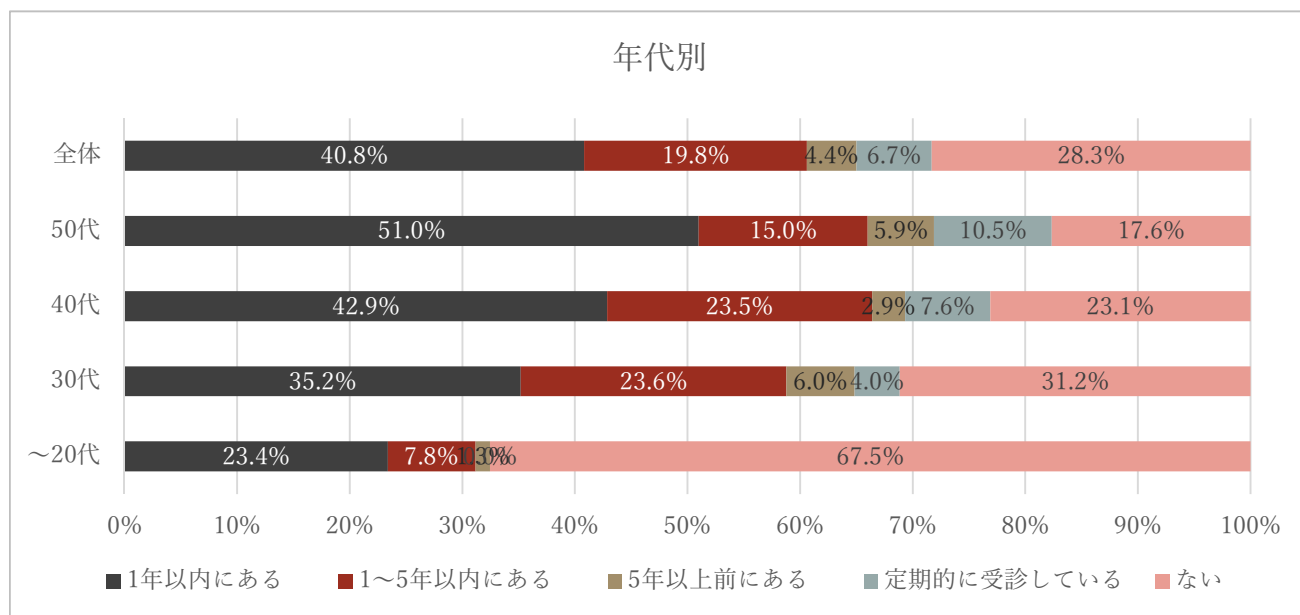
男性に比べ女性のほうが比較的認知度が高い結果となりました。年齢が上がるにつれ認知度が高い結果となりました。全体でみると、認知度は半数以上ですが、20 代の認知度は 41.6%と約 4 割という結果になっています。エリア別の認知度は、愛知県の女性が 65.3%と高い結果となりました。

【本件に関するお問い合わせ】

株式会社 中広 メディア戦略室 広報課(岡本)
TEL.080-6978-2574 Mail : koho@chuco.co.jp

2. がん検診(健康診断・人間ドック・婦人科検診を含む)を受診したことがありますか

男性に比べ女性の受診率が高い。年代・地域差もある。



がん検診の受診率は女性のほうが男性に比べ比較的高い結果となりました。

男性は約4割が「一度もない」と回答しています。20代は受診率が低く、67.5%が「ない」と回答していますが、30代になると「1～5年以内にある」と回答する比率が伸び、23.6%という結果になっています。

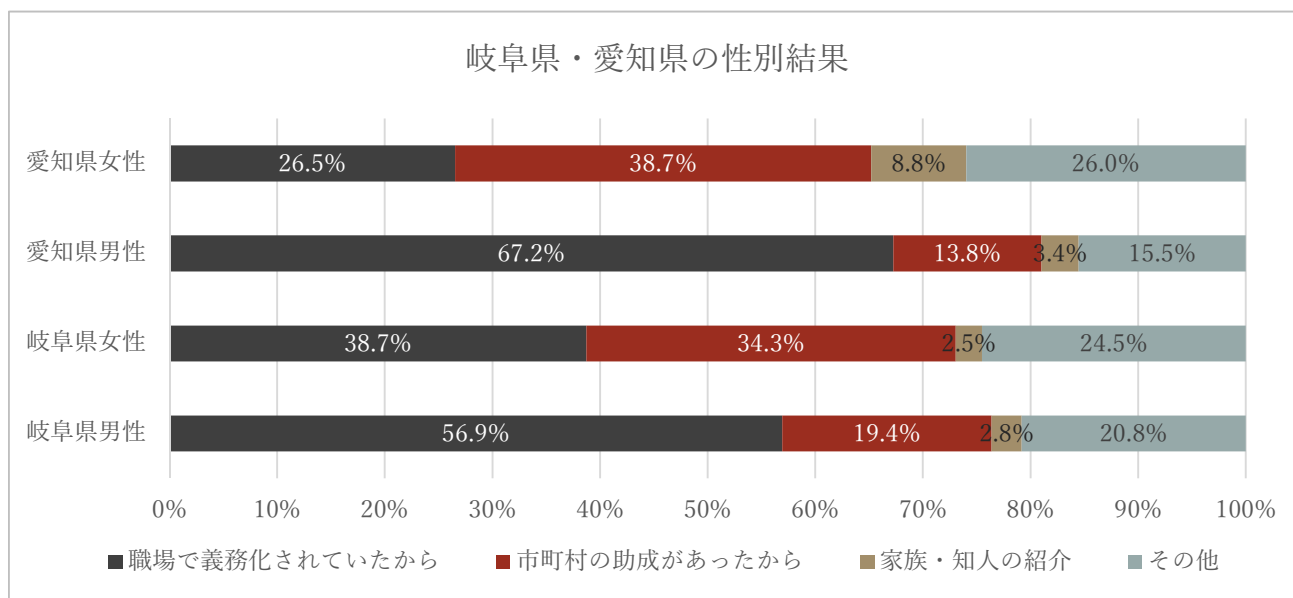
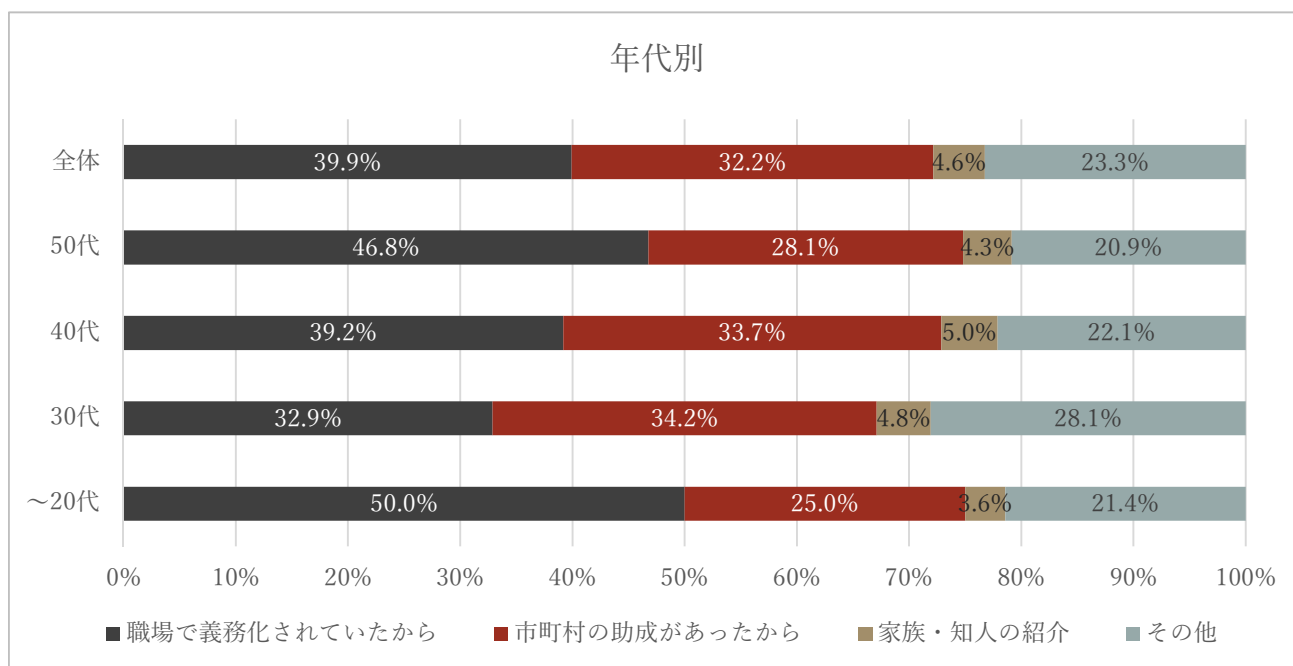
1年以内に受診した比率は岐阜県の女性が高いですが、受診したことがある比率は愛知県の女性が高い結果となりました。

【本件に関するお問い合わせ】

株式会社 中広 メディア戦略室 広報課(岡本)
TEL.080-6978-2574 Mail: koho@chuco.co.jp

3. 「ある」と答えた方へ、受診したきっかけを教えてください

男性は「職場での義務化」、女性は「市町村の助成」。



「ある」と回答した方のなかで、男性の 61.6%は「職場で義務化されていたから」と回答しています。

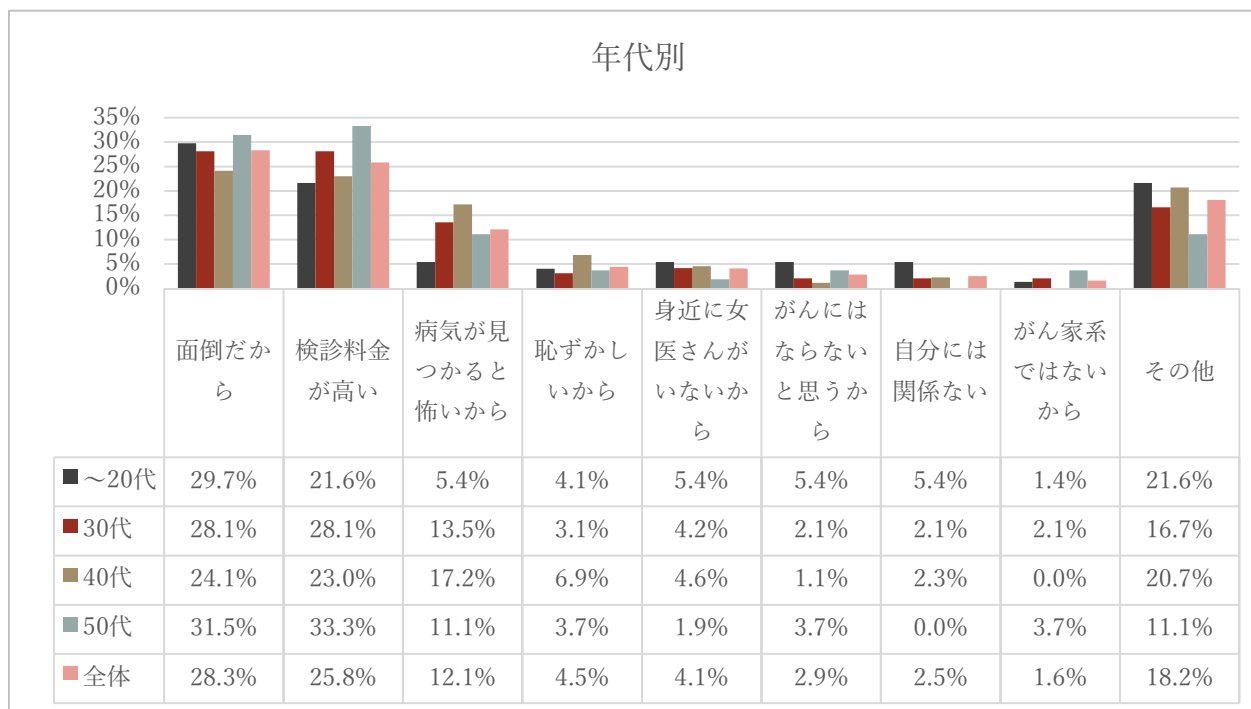
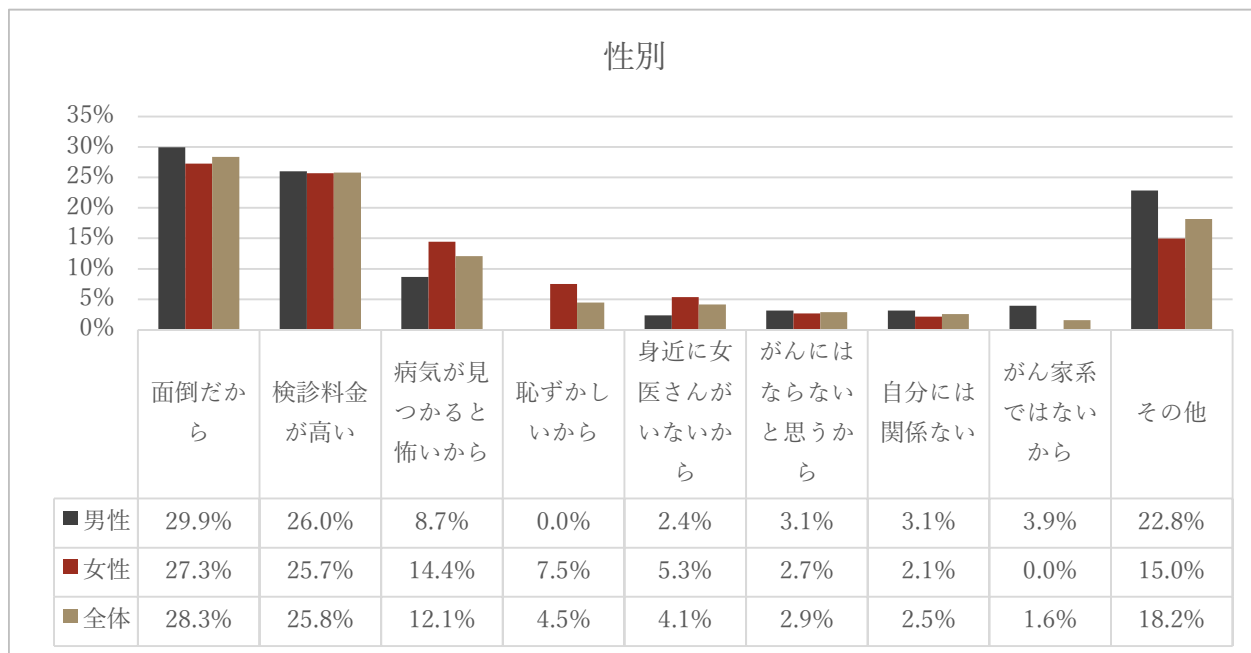
対する女性は「市町村の助成があったから」が一番多く 37.5%、次いで「職場で義務化されていたから」が 32.6%となっています。エリア別にみると、愛知県の女性は「家族や知人の紹介」で受診する比率が岐阜県よりも高いことが分かりました。

【本件に関するお問い合わせ】

株式会社 中広 メディア戦略室 広報課(岡本)
TEL.080-6978-2574 Mail : koho@chuco.co.jp

4. 「ない」と答えた方へ、受診しない理由を教えてください

受診することが「面倒」なうえに、「検診料が高い」ことが大きなネック。



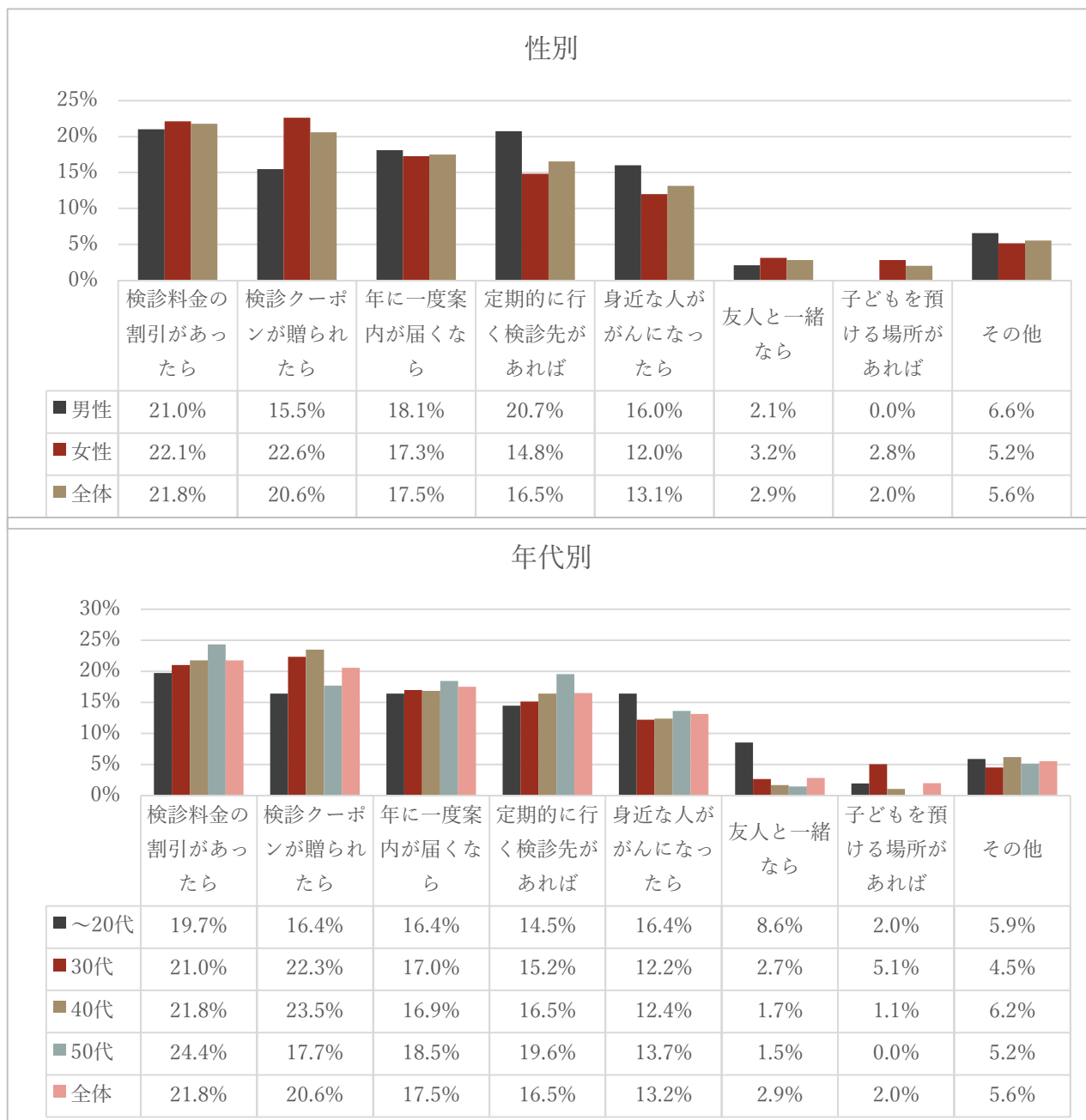
受診しない理由は「面倒だから」と「検診料が高い」が大きな要因のようです。女性は「病気が見つかり怖いから」受診に行かないと回答する比率が高い結果となりました。

【本件に関するお問い合わせ】

株式会社 中広 メディア戦略室 広報課(岡本)
TEL.080-6978-2574 Mail : koho@chuco.co.jp

5. どのようなきっかけで定期的に検診に行こうと思いますか

**女性にはがん検診についても「クーポン」が有効。
男性は職場での義務付けなど「定期的な案内」が有効。**



「検診料金の割引があったら」と「検診クーポンが贈られたら」が高い結果となりました。男性には定期的な案内、女性にはクーポンが有効な様子です。20代は「友人と一緒に検診に行く」という回答も目立ちました。

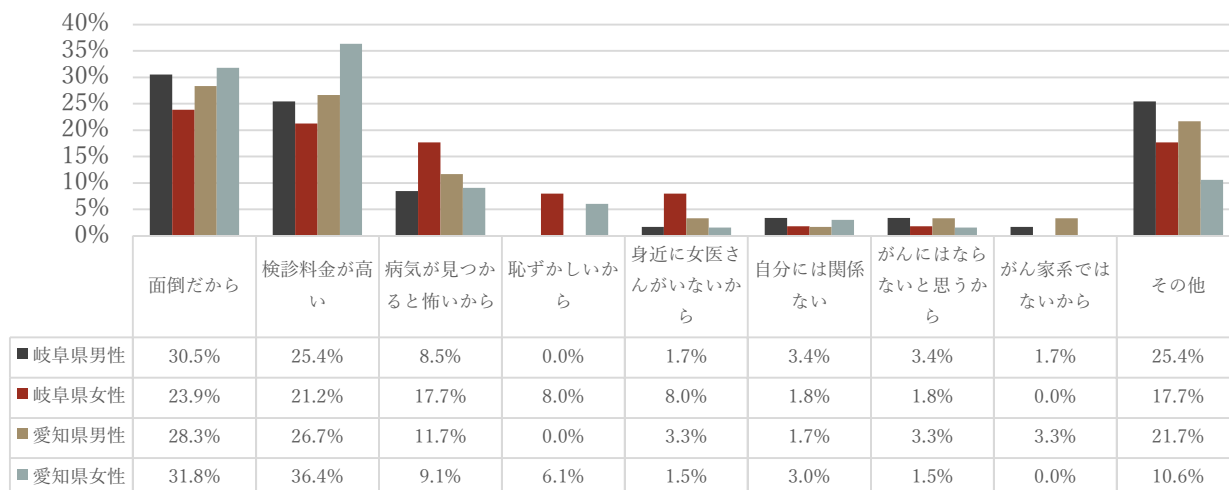
【本件に関するお問い合わせ】

株式会社 中広 メディア戦略室 広報課(岡本)
TEL.080-6978-2574 Mail : koho@chuco.co.jp

アンケート結果から見えるエリア特性

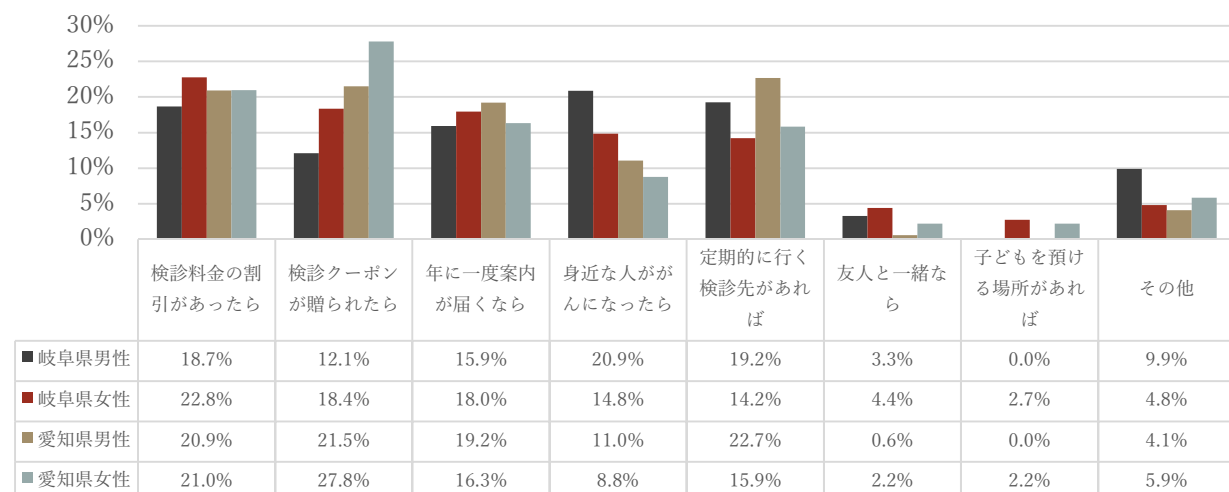
がん検診への考え方に地域差があり、県ごとのがん検診の啓発活動の差ともいえる。

設問2に対し「ない」と答えた方へ、
受診しない理由を教えてください（愛知県・岐阜県比較）



受診しない理由をみると、愛知県の女性は特に検診料がネックになっていることが分かりました。岐阜県の女性は「病気が見つかるのが怖い」・「面倒」とがん検診に対し一歩引いている姿勢がうかがえます。

どのようなきっかけで定期的に検診に行こうと思いますか



受診のきっかけについて、愛知県の女性は「検診クーポンが贈られたら」が一番多く、27.8%が回答しました。愛知県の男性は「定期的に検診に行く検診先があれば」が一番多く 22.7%でした。岐阜県の女性は「検診クーポン」というものを認知しておらず「割引」という概念で捉えているようで、「検診料金の割引があったら」が 22.8%と一番多い結果となりました。岐阜県の男性は「身近な人ががんになったら」が一番多い結果となっています（20.9%）。

【本件に関するお問い合わせ】

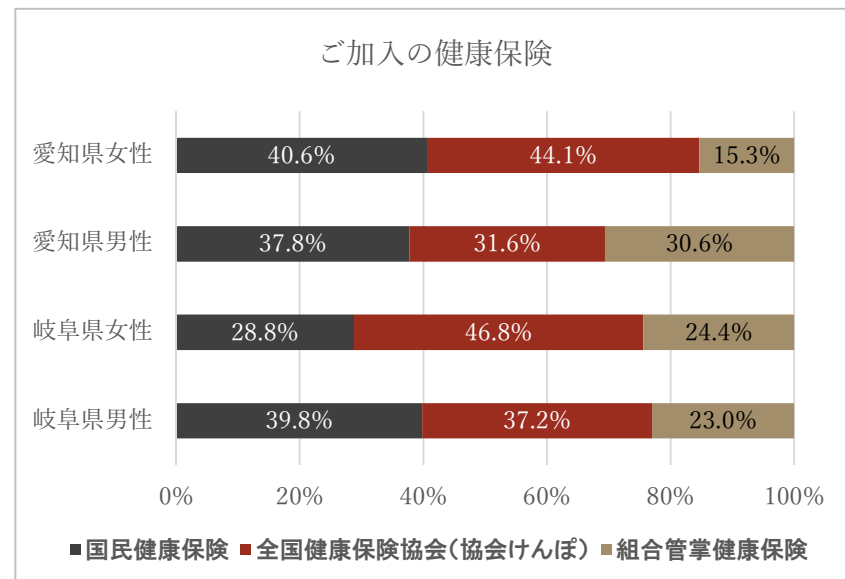
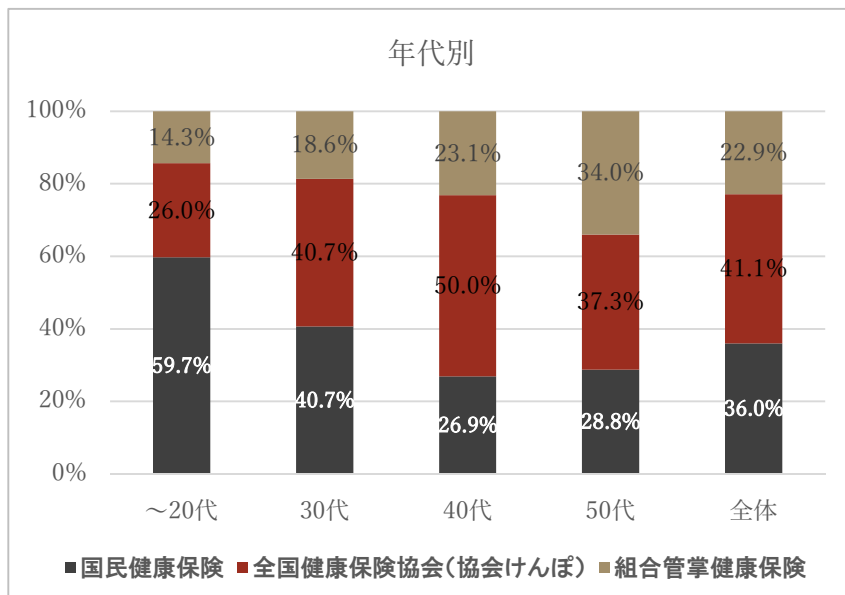
株式会社 中広 メディア戦略室 広報課(岡本)
TEL.080-6978-2574 Mail : koho@chuco.co.jp

アンケート回答者 基本属性

■お住まいの市町村

市町村	N
岐阜市	107
大垣市	26
高山市	13
多治見市	10
関市	14
中津川市	10
美濃市	3
瑞浪市	2
羽島市	3
恵那市	6
美濃加茂市	8
土岐市	7
各務原市	22
可児市	15
山県市	5
瑞穂市	11
飛騨市	24
本巣市	3
郡上市	6
下呂市	1
海津市	2
岐阜県 羽島郡 岐南町	6
岐阜県 羽島郡 笠松町	1
岐阜県 養老郡 養老町	6
岐阜県 不破郡 垂井町	4
岐阜県 不破郡 関ヶ原町	0
岐阜県 安八郡 神戸町	4
岐阜県 安八郡 輪之内町	1
岐阜県 安八郡 安八町	0
岐阜県 揖斐郡 揖斐川町	12
岐阜県 揖斐郡 大野町	4
岐阜県 本巣郡 池田町	5
岐阜県 本巣郡 北方町	3
岐阜県 加茂郡 坂祝町	0
岐阜県 加茂郡 富加町	1
岐阜県 加茂郡 川辺町	0
岐阜県 加茂郡 七宗町	1
岐阜県 加茂郡 八百津町	1
岐阜県 加茂郡 白川町	0
岐阜県 加茂郡 東白川村	0
岐阜県 可児郡 御嵩町	1
岐阜県 大野郡 白川村	0
その他岐阜県	8
愛知県 名古屋市	268
その他愛知県	30
三重県	24
滋賀県	5
その他	20
合計	708

■加入している健康保険



【本件に関するお問い合わせ】

株式会社 中広 メディア戦略室 広報課(岡本)
TEL.080-6978-2574 Mail: koho@chuco.co.jp

アンケート概要

【調査概要】

調査概要：がん検診に関するアンケート

調査方法：モバイルフリモアンケート

調査時期：2016 年 6 月 3 日～6 月 12 日

有効回答数：10～70 代 男性・女性 703 名

回答者属性：【性別】 男性：224 名 女性：479 名

【年齢】

	～20代	30代	40代	50代	60代～	合計
人数	77	199	238	153	36	703

【共同調査】

岐阜大学地域科学部 教授 三井 栄

専門：計量経済学：景気分析、数理ファイナンス、経済シミュレーション

『中部を創る～20 人の英知が未来をデザイン～』中日新聞社(2010)

「東海北陸自動車道全通による地域経済への影響--企業の意識構造分析」地域学研究 (2011)

【中広マーケティングリサーチについて】

「中広マーケティングリサーチ」とは、株式会社中広が運営するモバイルサイト「フリモ®」の会員に対しアンケート調査を実施するアンケート組織です。結果をサービス改善や資料作成に役立てています。

【フリモ®について】

「フリモ®」とは株式会社中広が運営する携帯ポータルサイトです。中部圏を中心に発行している各戸配布の生活情報誌と連動し、飲食店、ヘアサロン、整体、スクール、ハウジングなど、様々なジャンルが掲載されています。現在約 13 県 140 市町村郡の情報を掲載しており、掲載店舗・掲載エリアを拡大しております。 <http://sp.furimo.jp/>

【株式会社 中広について】

株式会社中広は岐阜に本社を置く広告会社です。当社は、北海道・宮城・東京・愛知・岐阜・三重・滋賀・福井・群馬・埼玉・鳥取の 1 道 1 都 9 県下でメディア事業及び広告セールスプロモーション事業を展開しております。

1978 年の設立以来、多くの方々に支えられ、2007 年セントレックスに上場、2012 年に名証 2 部に上場、2014 年に東証 2 部、2015 年 12 月には東証 1 部、名証 1 部に上場致しました。

メディア事業においては、地域に根ざした生活情報を収集・編集して地域みっちゃく生活情報誌®を北海道・宮城・群馬・埼玉・愛知・岐阜・三重・滋賀・福井・鳥取の 1 道 9 県で 63 誌 375 万部を発行（VC 含め 109 誌 628 万部）無料で各家庭に配布しております。また、イベントセミナー事業（講演会・研修会・イベント）・クロスメディア事業（フリモ・通販・PR）を実施しております。

広告 SP 事業においては広告戦略・広告計画・販売促進計画を立案する総合広告会社として、スポンサーの要望に応える媒体選択、デザイン提案、販売促進策の企画運営を行っております。

株式会社 中広

本 社：岐阜県岐阜市東興町 27 番地

創 業：昭和 53 年 5 月 1 日

代表取締役社長：後藤一俊

TEL：058-247-2511（代）

資本金：4 億 430 万円

【本件に関するお問い合わせ】

株式会社 中広 メディア戦略室 広報課(岡本)
TEL.080-6978-2574 Mail: koho@chuco.co.jp